**音声ガイド：温泉神社**

数分ほど道を北に進むと、町の中心にいることに気づくだろう。右側に石の鳥居があるところで止まると、そこは温泉神社だ。

701 年に四面宮として創建され、もともとは満明寺の建物群の一部だった。おしめんの総本宮だが、おしめんとは、島原半島一体で地域と温泉を守るとして、崇拝されていた四面の神だ。

四面宮は雲仙で宗教上の対立が起こった時期の影響を受けた。19 世紀後半、明治の新政府は、何百年もの伝統をなきものにしようとした。その伝統とは、仏教と神道の神々を、大抵は同じ場所で一緒に祀るというものだ。四面宮は満明寺のその他の部分と無理やり離され、「異質の」仏教の影響を受けたとみなされている他の部分と切り離すために、新しい名前を付けられた。

第二次世界大戦後、この元の名前が復活し、地元の人たちは、ニックネームでおしめんさん、と呼ぶようになった。しかし、宗教的な分離は決して解消されず、今日の日本では神道と仏教は完全に別個の伝統として見られている。